

# 夏

# それぞれの

東日本大震災による福島第1原発事故を受け、夏休みの間だけでも子どもたちを安全な環境で過ごさせたい。そういった家族などがこの夏、弟子屈で過ごしました。



網走の海で



ムックリの音色に聞き入る



ザリガニ釣りに挑戦



あいにくの悪天候 プログラムを変更して体を動かして思い切り遊ぶ

福島県や北海道のNPO法人などでつくる「福島の子どもを守ろう 夏季林間学校実行委員会」主催の「福島の子どもの笑顔と元気応援プログラム」ふくしまキッズ夏季林間学校」の参加者が、8月15日～19日に町内に滞在し、自然体験などを行いました。

に夏休みを安心して楽しんでもらおうというプログラムで、渡島管内七飯町を拠点に道内に滞在。このうち、3歳～中学校3年生の子どもたちとその保護者など44人が弟子屈を訪れました。

町内では、シラカバの除伐体験やムックリ作り、和琴半島でのラフトボート体験やザリガニ釣りなど、弟子屈の自然を満喫しました。



ムックリ作り上手にできるかな



交流会一番の盛り上がりはジャンケン大会



アトラクション盛りだくさんの交流会



屈斜路湖でのラフトボート体験



川湯ビレッジでの交流会



アイスクリーム作りに挑戦



かわいい子牛との触れ合い



摩周そば粉でそば打ち



川湯エコミュージアムセンターではネイチャークラフトも

釧路市の市民団体「被災者支援 ネットワーク釧路」を通じ、福島県や山形県、宮城県、千葉県などから24人が来町。跡佐登の宿泊施設「川湯ビレッジ池上清子代表」や一般家庭で、7月中旬～8月下旬を過ごしました。

東日本大震災被災者弟子屈町緊急支援対策本部（本部長・徳永町長）では、8月1日、9日、17日に、こうし

た方々を対象としたバスツアーや交流会などを実施。弟子屈ならではの観光を体験してほしいと、1日にはそば打ちや屈斜路湖でのラフトボート体験、アイスクリーム作りなどに挑戦してもらいました。9日には、網走方面にも出掛けました。17日には、ふくしまキッズ（3ページ参照）で来町した子どもたちとの交流会も行われました。



弟子屈への到着日 横断幕で歓迎